

第6次総合計画（R4～R15）策定時の町民アンケート結果

高原町第6次総合計画を策定するにあたり、令和2年2月、18歳以上の町民約2,000人の方にアンケート調査を実施しました。有効回答票数が758票となり、主な回答結果は次のとおりです。

第4次総合計画（H13～H22）、第5次総合計画（H24～R3）策定時の町民アンケート結果と比較しています。

1 「あなたにとって、高原町は住みやすいまちですか。」

区分	回答数	構成率（R1）	構成率（H21）	構成率（H11）
住みやすい	335	44.2%	38.9%	37.1%
どちらともいえない	198	26.1%	22.3%	19.3%
住みにくい	72	9.5%	37.1%	34.2%
無回答・不明	153	20.2%	1.6%	9.4%

2 1の理由【住みやすい理由】

区分	回答数	構成率（R1）	構成率（H21）
自分の土地や家がある	293	22.1%	—
住み慣れた地域に愛着がある	287	21.6%	—
家族や親戚が近くにいる	166	12.5%	—
地域の人のつながりがある	156	11.7%	—
自然環境・気候に恵まれている	156	11.7%	—
今の住居に満足している	131	9.9%	—
安全・安心な食材が豊富である	55	4.1%	—
買い物や通勤・通学が便利である	29	2.2%	13.4%
医療や福祉サービスが充実している	20	1.5%	30.9%
道路、公園などが整備されている	13	1.0%	12.6%
子育てサービスが充実している	7	0.5%	—
教育や文化活動の環境がよい	7	0.5%	4.9%
その他	8	0.6%	38.2%

3 1の理由【住みにくい理由】

区分	回答数	構成率（R1）	構成率（H21）
買い物や通勤・通学が不便	81	27.0%	37.5%
医療や福祉サービスが不十分	48	16.0%	—
働く場所が無い（少ない）	47	15.7%	38.7%
近所付き合いなどがしにくい	25	8.3%	5.4%
地域に愛着や魅力を感じない	24	8.0%	—
道路、公園などが整備されていない	22	7.3%	—
教育や文化活動の環境整備不足	16	5.3%	—
子育てサービスが充実していない	9	3.0%	—
家族や親戚の住まいから遠い	7	2.3%	—
今の住居に不満がある	6	2.0%	—
他市町村に自分の家や土地がある	2	0.7%	—
自然環境・気候に恵まれていない	2	0.7%	—
その他	11	3.7%	18.4%

4 「あなたは、高原町に今後も住み続けたいと思いますか。」

区分	回答数	構成率（R1）	構成率（H21）	構成率（H11）
ずっと住み続けたい	415	54.7%	70.3%	64.2%
当分は住み続けたい	189	24.9%	—	—
町外に移りたい	47	6.2%	8.7%	11.3%
わからない	80	10.6%	20.6%	19.0%
無回答・不明	27	3.6%	0.4%	5.5%

5 生活の満足度

	満足	概ね満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答
公共交通などの利便性	3.7%	10.4%	26.4%	24.9%	25.7%	8.9%
雇用環境	1.2%	8.2%	39.2%	17.8%	21.2%	12.4%
医療・福祉施設やサービス体制の充実度	2.6%	17.9%	34.3%	22.2%	12.8%	10.2%
子育て環境や子育て支援	2.5%	17.0%	47.9%	11.6%	6.1%	14.9%
子どもの教育環境	3.4%	19.0%	47.1%	10.4%	5.7%	14.4%
地域のつながりや支え合い	6.3%	33.8%	38.7%	7.3%	4.2%	9.7%
歴史・自然などの地域特性	10.3%	30.7%	39.6%	4.6%	2.1%	12.7%
環境保護やリサイクル制度	5.9%	28.9%	37.6%	10.4%	6.6%	10.6%

6 「結婚・子育て支援対策として、どのような施策に力を入れるべきとお考えになりますか。」

区分	回答数	構成率 (R1)	構成率 (H21)
保育所等に子どもを預けられるなど働きながら子育てができる環境づくりを進める	359	27.5%	/
結婚したい男女の出会いの場づくり	249	19.1%	
企業等の雇用主に正規社員の雇用を働きかける	248	19.0%	
企業等の雇用主に働きかけ、男女ともに育児休暇等取得しやすい環境づくりを進める	176	13.5%	
男女が共に社会参加や自己実現できる意識改革を推進する	84	6.4%	
男性の家事・育児への参加を促すための取り組みや啓発を進める	79	6.1%	
その他	26	2.0%	
無回答・不明	83	6.4%	

<年代別集計>

「保育所等に子どもを預けられるなど働きながら子育てができる環境づくりを進める」「企業等の雇用主に働きかけ、男女ともに育児休暇等取得しやすい環境づくりを進める」が若い年代に顕著に多く見られ、仕事と子育てが両立できる労働環境を求めていることがわかる。一方で、「結婚したい男女の出会いの場づくり」は、40代以下では50代以上の半数以下の回答数となっていた。

7 「少子化対策として、どのような施策に力を入れるべきだとお考えになりますか」

区分	回答数	構成率 (R1)	構成率 (H21)
若い世代の移住・定住の促進	423	31.2%	37.2%
子育て家庭への経済的負担軽減の支援	291	21.4%	16.7%
仕事と家庭・地域生活の両立の応援	219	16.1%	25.4%
子どもを取り巻く教育環境の充実	130	9.6%	8.5%
保育所等の施設の充実	102	7.5%	5.8%
子育て相談や保育サービスの充実	96	7.1%	5.2%
その他	30	2.2%	1.4%
無回答・不明	66	4.9%	—

<年代別集計>

40代を除く全ての年代で「若い世代の移住・定住の促進」が最も多く、40代をはじめとした子育て世代では「子育て家庭への経済的負担軽減の支援」が他の年代と比べて多かった。全体的に、年代間での回答数のばらつきは比較的少なかった。

8 「高齢化が進む中、福祉を充実するためにはどのような施策に力を入れるべきだとお考えになりますか」

区分	回答数	構成率 (R1)	構成率 (H21)
高齢者が利用しやすい施設等の整備	390	28.5%	24.4%
生きがいづくりや働く場の確保など支援体制の充実	275	20.1%	23.3%
地域全体で高齢者を支える仕組みの整備	240	17.6%	22.8%
高齢者のための健康増進事業の充実	186	13.6%	12.9%
最先端の技術を活用した高齢者支援サービスの充実	121	8.9%	—
ボランティアの人材育成および活用	61	4.5%	11.1%
学校や生涯学習での福祉教育の充実	34	2.5%	4.6%
その他	25	1.8%	1.0%
無回答・不明	35	2.6%	—

<年代別集計>

50代以上は「高齢者が利用しやすい施設等の整備」、40代以下では「生きがいづくりや働く場の確保など支援体制の充実」が最も多かった。「地域全体で高齢者を支える仕組みの整備」は80代以上の回答数が他の年代と比べてかなり多かった。

9 「農業振興について、あなたが必要と思うものは次のうちどれですか」

区分	回答数	構成率 (R1)	構成率 (H21)
農業従事者・後継者の育成と円滑な事業継承	324	23.9%	29.8%
遊休地・耕作放棄地の有効活用	296	21.8%	—
特産品の開発や販路開拓	244	18.0%	27.4%
環境にやさしい農業の振興	82	6.0%	8.7%
集落営農組織などの法人化	75	5.5%	—
自動化など最先端農業技術の積極的導入	75	5.5%	5.4%
生産グループ等の育成施策の強化	68	5.0%	9.6%
融資制度をはじめとする支援制度の広報と活用促進	56	4.1%	4.4%
体験農業などの振興	53	3.9%	6.9%
その他	16	1.2%	7.7%
無回答・不明	68	5.0%	—

<年代別集計>

「農業従事者・後継者の育成と円滑な事業継承」は20代の回答が最も多く、続いて60代以上の年代が多かった。40代以上の年代で回答が多かったのは「農業従事者・後継者の育成と円滑な事業継承」「遊休地・耕作放棄地の有効活用」、30代以下の回答が40代以上より多かったのが「自動化など最先端農業技術の積極的導入」「体験農業などの振興」だった。

<「その他」に寄せられた御意見>

- ・企業化
- ・農業収益を上げる取り組み
- ・後継者やその他の若者（農業を担う可能性のある者）に農業の魅力や可能性を伝えていくこと！！
- ・今の農家には何でも補助の人が多い自助努力必要。
- ・安定した収入が得られるよう、行政は支援していくこと。

10 「商工業振興について、あなたが必要と思うものは次のうちどれですか。」

区分	回答数	構成率 (R1)	構成率 (H21)
大規模店舗や優良企業の誘致	355	27.3%	24.1%
共同店舗化による新たな商業集積地づくり	238	18.3%	16.5%
地元商店や企業の育成・振興	200	15.4%	19.3%
イベントや消費者サービスなどの販売促進対策	119	9.2%	14.4%
商店街の活性化や差別化	105	8.1%	9.9%
起業家への支援や新産業の開発・育成	97	7.5%	8.9%
経営近代化やサービス向上のための支援	60	4.6%	4.1%
各融資制度の周知と活用促進	27	2.1%	2.2%
その他	21	1.6%	0.7%
無回答・不明	76	5.9%	—

<年代別集計>

「大規模店舗や優良企業の誘致」は全ての年代で最も回答数が多かった。「地元商店や企業の育成・振興」は10代及び60代以上、「商店街の活性化や差別化」は20代の回答数が多く、どの年代でも町内既存商店等の振興や活性化の必要性を感じていた。また、「起業家への支援や新産業の開発・育成」「イベントや消費者サービスなどの販売促進対策」は若い年代の回答が多く見られた。

<「その他」に寄せられた御意見>

- ・キャッシュレス
- ・小林の大規模店は物価が安いのでついそこに行ってしまう。
- ・4～5年先にはほとんどの店が閉じることになるだろう。店に対して継承していけるかどうか、行政は調査を行い、その結果によって店の後継者を探すことも必要ではないかと思えます。
- ・移動販売、注文販売

11 「観光振興について、あなたが必要と思うものは次のうちどれですか」

区分	回答数	構成率 (R1)	構成率 (H21)
みやげ物などが購入できる施設の充実	194	14.4%	—
周辺自治体と連携した観光ルートの開発	189	14.1%	12.3%
高原ブランドの開発による振興	179	13.3%	22.6%
宿泊施設の整備・充実	176	13.1%	—
観光イベントの企画や誘致	172	12.8%	7.4%
農業や商工業分野と連携した観光機能の充実	141	10.5%	17.4%
インターネットを活用した情報発信や魅力的な広告・パンフレットの整備	114	8.5%	—
体験型観光（農家民泊など）の充実・育成	90	6.7%	9.5%
その他	28	2.1%	30.8%
無回答・不明	62	4.6%	—

<年代別集計>

各項目とも年代間のばらつきが多いものの、特定の年代や世代（若い世代、高齢者世代等）による回答の傾向は見られなかった。

<「その他」に寄せられた御意見>

- ・インター付近に、道の駅、みやげ物レストランの建設。
- ・温泉の活用、温泉付き道の駅の建設。
- ・「神話の里」「日本発祥の地」など、郷土の歴史をPRする。
- ・外部からの認知度の高い高原町の特産品がほしい。
- ・皇子原公園の整備、屋外ステージの活用、障害者トイレの不備。
- ・霧島山系系の登山道、駐車場（有料）の整備

12 「子どもの健全育成について、あなたが必要と思うものは次のうちどれですか」

区分	回答数	構成率 (R1)	構成率 (H21)
親子のふれあいや家庭での教育	289	21.1%	33.4%
不登校、いじめなどの心の問題への対応	219	16.0%	14.9%
基礎学力の向上に重点をおいた教育	202	14.7%	13.3%
地域ぐるみでの子どもの育成活動	200	14.6%	15.7%
地域特性や人材を活用した特色ある教育	108	7.9%	6.4%
情報化社会への対応に重点をおいた教育	85	6.2%	6.7%
スポーツに力を入れた教育と施設の拡充	79	5.8%	6.0%
国際化社会への対応に重点をおいた教育	72	5.3%	0.6%
ボランティア活動に重点をおいた教育	31	2.3%	2.9%
その他	19	1.4%	0.1%
無回答・不明	67	4.9%	—

<年代別集計>

20～30代では「基礎学力の向上に重点をおいた教育」が最も多かった。50代以上で最も回答数が多かったのは「親子のふれあいや家庭での教育」で、次に「不登校、いじめなどの心の問題への対応」「地域ぐるみでの子どもの育成活動」が多かった。「地域ぐるみでの子どもの育成活動」では、50代以上の回答も多かったが、20代の回答数が出しており、若い子育て世代がより必要を感じている結果となった。

<「その他」に寄せられた御意見>

- ・図書館など、小中学生などが勉強や読書ができる空間が必要。
- ・余暇の時間に子どもたちが集まれる施設、場所がない。
- ・ひきこもり、発達障害など特性のある子どもへの社会参加の支援。
- ・子育てする親の資質向上。

13 「学習・文化・スポーツの振興について、あなたが必要と思うものは次のうちどれですか」

区分	回答数	構成率 (R1)	構成率 (H21)
文化・スポーツイベントの開催・充実	278	22.0%	23.4%
文化財の保存や伝統文化の後継者育成	219	17.3%	15.3%
指導者や相談体制の充実	210	16.6%	16.2%
各種活動の場の整備・発表の機会の充実	185	14.6%	9.9%
各種講座や催し物の内容の充実	149	11.8%	11.5%
各種団体への支援	112	8.9%	7.7%
その他	20	1.6%	15.9%
無回答・不明	92	7.3%	—

<年代別集計>

20代以下では「指導者や相談体制の充実」、30代以上では「文化・スポーツイベントの開催・充実」が最も多かった。年代間のばらつきが多い項目が多い中、「文化・スポーツイベントの開催・充実」「文化財の保存や伝統文化の後継者育成」はばらつきが少なく、多くの年代で必要性が感じられている結果と

<「その他」に寄せられた御意見>

- ・図書館の建設、民間による運営
- ・文化面でのイベントが不足している。
- ・スポーツ施設の充実はあっても、教育施設は充実していない。図書館を集える場所にしてほしい。
- ・プロスポーツのキャンプを受け入れるための整備及び受け入れ。

14 「あなたは、高原町のまちづくりにどのように関わってきたいですか」

区分	回答数	構成率 (R1)	構成率 (H21)
積極的に参加、または協力したい	124	16.4%	26.1%
自分の興味あるものは参加したい	380	50.1%	50.5%
文書やメール、または区長などを通して意見を伝える	81	10.7%	13.1%
まちづくりに関心がない	59	7.8%	2.3%
その他	40	5.3%	2.4%
無回答・不明	74	9.8%	5.6%

<年代別集計>

「積極的に参加、または協力したい」は10代、50代が多く、若い年代ほど多い傾向があった。「自分の興味あるものは参加したい」は、30～60代が各世代とも50%を超え、全ての年代で最も回答が多かった。「まちづくりに関心がない」は全体的に少ないが、50代が特に少なく（＝関心がある）、若い世代と高齢者世代に関心がない回答が多い傾向だった。